


























# ロボット支援下腹腔鏡下前立腺全摘術を受けられる(12日間)

様へ

説明医師  
外来看護師  
病棟看護師

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目	術後2日目	術後3~6日目	術後7日目	術後8日目~退院日
目標	○心身ともに安定した状態で術を受けることができる		○術後合併症をおこさない (出血・肺合併症・深部静脈血栓症・感染・イレウス) ○手術体位による頭痛・悪心・眼痛の出現がない ○疼痛コントロールが図れ、術後1日目より術後合併症予防のためのリハビリがおこなえる ○血尿スケール2以下で経過する			○術後合併症をおこさない (感染・イレウス・深部静脈血栓症)		○尿道カテーテル抜去後自然排尿がある ○尿漏れの対処方法を理解し実施できる ○創部の観察と適切な対応ができる ○退院後の療養上の注意点について理解できる
検査	採血をします 		手術室で胸部レントゲン撮影をします 術後採血をします  	朝採血をします レントゲン撮影をします 	必要時検査をおこないます ※検査の予定がいりましたら前日にお知らせします			
食事	朝食は自宅で食べてください 21時以降絶食となります 麻酔科医師の指示とおりに経口補水液を飲んでいただきます	絶飲食です 		飲水の許可、医師の許可が次第、食事を再開します 全粥食となります	朝食より常食となります			
処置・観察	体温・脈拍・血圧を測定します  リストバンドを装着します(退院日まで装着します) 臍をきれいに処置します	術後は時間毎に血圧・体温測定や創部の観察をおこないます  朝(手術2時間前)洗腸をします 排便後にシャワー浴をしていただきます 手術衣に着替え、弾性ストッキングを履いてください 点滴の針を留置します  時間になれば看護師が手術室へ案内します 	術後は時間毎に血圧・体温測定や創部の観察をおこないます  術後から翌朝まで心電図モニターを装着します 術後6時間酸素吸入をします ※指先で酸素飽和度を測定します 値をみながら減量・中止します 創部に管が1本入っています 尿道カテーテルが入っています 術後から痛み止めの持続点滴を開始されています ※痛みや尿道カテーテルによる膀胱刺激症状が強い場合は、看護師に申し出てください	状態が安定すれば1日3回体温・脈拍・血圧測定をおこないます  朝、心電図モニターを外します 創部の状態(出血や浸出液が多い場合)によって適宜保護材を交換します	持続点滴が終了したら点滴の針を抜針します 	術後3日目に創部のテガダーム交換と創部の管を抜きます ※予定は術後3日目としていますが排液の性状をみて医師が最終決定します	創部の処置(抜釘)をおこないます 尿道カテーテルを抜去します ※膀胱・尿道吻合部の状態を確認後に抜去します ・初回尿は看護師が確認します ・以降も尿量を測定し、シートに記入してください ・尿漏れの有無も確認します ※しばらく尿漏れが続く可能性がありますので、「骨盤底筋運動」を積極的におこなってください	退院時にリストバンドをはずします 退院日まで尿量測定を継続してください
注射・内	いつも服用しているお薬のある方は看護師に渡してください 21時に下剤を服用していただきます 	手術室で点滴を開始します ※病棟で点滴を開始することもあります 	持続点滴をおこないます(500ml×2本)  抗生薬の点滴をおこないます 1日2回(10時・22時)	持続点滴をおこないます(500ml×4本)  血栓の予防のために皮下注射をおこないます 1日2回(10時・22時) 	前日からの点滴4本投与したら持続点滴は終了となります 			
行動	制限はありません  臍処置後シャワー浴・洗髪をしていただきます  	術後から翌朝までベッド上安静となります(寝返りは可能です) ※下肢深部静脈血栓症予防のため、ベッド上で下肢の運動をおこなってください 排便はベッド上でおこないます  	術後から翌朝までベッド上安静となります(寝返りは可能です) ※下肢深部静脈血栓症予防のため、ベッド上で下肢の運動をおこなってください 排便はベッド上でおこないます  	医師の許可がでたら、リハビリを開始します(初回は看護師と一緒に) 午前:室内 午後:廊下歩行 朝看護師が体を拭きます  食事再開後は、1日1.5リットルを目安に、水分を多く取ってください	室内歩行フリーです 	病棟内フリーです 医師の許可がありましたら創部を保護しシャワー浴をおこないます  	制限はありません	
説明	医師より説明 治療計画と手術について  看護師より説明 入院生活について  手術室看護師より説明 手術について  薬剤師より説明 薬について 	医師より説明 手術の結果について  看護師より説明 術後の注意点について ・安静について  ・酸素投与について  ・下肢運動について  ・痛み止めの使用方法について 	医師より説明 手術の結果について  看護師より説明 術後の注意点について ・安静について  ・酸素投与について  ・下肢運動について  ・痛み止めの使用方法について 	医師の回診があります 			看護師より説明より説明 尿道カテーテル抜去後の注意点について  ・尿量測定方法について  ・尿失禁の対処方法について  ・骨盤底筋運動について 	医師より説明 退院後の療養生活について  看護師より説明 退院後の療養生活について 

\* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。  
\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。  
\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。  
\* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。